

質疑・意見の要旨	質疑・意見の要旨
<p><b>有害駆除対策</b> 認定農業者の会の中でも、イノシシやタヌキの被害が多いという話がよく出る。そのためにサツマイモの生産を止めて、ごぼうなどに切り替える人もいる。有害鳥獣は家の近くまで来るし、荒れた畑を越えて離れた畑にもやってくる。猟友会が巡回してくれているが、イノシシ等は特に攻撃的で、追い払うだけでは被害が減らない。5年単位、10年単位で計画を立てて、猟友会と協力するなりしながら駆除を進めてほしい。また、重要案件と捉えて予算を重点的に振り分けてほしい。</p> <p>松山地区で多いのはタヌキであり、驚くほど数が増えている。私は牛の生産も生業にしているが、タヌキは牛が食べ残した飼料を食べるし、有機栽培の野菜も食べるし、ビニールも噛みちぎる。単純な物的被害だけでなく、タヌキは皮膚病が多いため、牛が皮膚病に感染してしまう恐れがあるのが大きな問題である。また、廃墟化した家屋が最近多いが、タヌキはそういう廃墟を寝床にしていると思われる。それも単独ではなく、複数で住んでいると思う。市でそういう家屋の調査は進んでいると思うが、その後の対応をどうするのか、是非検討してほしい。</p> <p>タヌキによる被害として、肥育の配合飼料を食べたり、藁倉庫で糞をして片付けが大変だったりしている。自主捕獲等の対応もしているが、多勢に無勢である。また、作っている牧草がイノシシに荒らされており、作業もやりづらくなるし、機械も壊れてしまう。</p> <p>タヌキはともかく、イノシシやシカは食べやすい。特例として道の駅等でそういう料理の提供をして、処分料を抑制する取り組みはできないか。また、食べにくいタヌキも焼却後、肥料にできないものか。とにかく数を減らすことを目標にしてほしい。被害額はかなりのものである。現況を捉えて、しっかりと考えてほしい。サッカー大会で人を集めて外貨を稼ぐことも必要だが、農家の被害を防ぐという事も考えてほしい。</p>	<p><b>小園班長</b> 猟友会関係の助成など、予算関係については持ち帰って執行部へしっかりと繋ぐ。有害鳥獣は捕獲に資格が必要な点も考慮すべきだが、取った後の処理も重要だと認識している。どの様な方向性を打ち立てるにしろ、やはり捕獲した後の処理が大変な点が一番の懸案項目だと考える。</p> <p><b>小園班長</b> 猟友会には入らなくても、資格は必要である。処分まで含めて対応を考えないといけない。提案型として一般質問の中で議論を深められればいいと思う。</p> <p><b>南 議員</b> 自分の地域では若者が環境保全会を結成し（多面的機能支払交付金事業を活用）、補助をもらい、罠の資格取得サポートを無料で行なっている。罠の購入もサポートしている。ただその後の実働が続かず、実績はまだ出ていない。私は養豚をやっているが、死亡豚がでる。それを焼却するために業者が回収しに来るが、これは年間契約である。そういう業者を利用すれば、タヌキやイノシシの処分も負担が減るのではないか。また、焼却して肥料にする方法も考えられるのではないか。志布志市で特別に条例を設けて取り組んでほしい、という意見も出たが、全国的に被害が出ている問題なので、全国各地の情報を集めて、現場の意見やアイデアも拾って、志布志市の独自モデルを作り上げてみてほしいのではないかと思う。鳥獣は自然に減るものではない。取り組まねばならない。</p> <p><b>小園班長</b> 大崎町にへい獣処理施設がある。イノシシはもとよりタヌキも確かに増えているのを感じる。死体処理等は重要な課題なので、この班で意見をまとめて執行部に提案していく。志布志市は廃屋調査を2年がかりでやった。実際にムジナが数匹、廃屋でミイラになっているのを見たこともある。重要性は理解している。</p>

質疑・意見の要旨	質疑・意見の要旨
<p><b>モグラ対策</b> 牛糞を土地に還元して作業しており、肥沃な土壌ができる反面、モグラが増えてしまって土手が穴だらけになっている。市に訴えても被害認定されず、自力で対処するしかない。ネットで対策を調べると、モグラの内臓では消化できないガムを食べさせて窒息させる方法が紹介されていた。現在、5kg程購入して実践しているが、中々効果が実感できていない。堆肥が十分すぎて他の作物を作る手段もとりにくく、今後に苦慮している。</p> <p><b>廃ビニール処理費高騰</b> ビニールの処分料については適正な値段なのか、という疑問が強い。昨年までは三州化工株式会社の鹿屋工場へ持ち込みさえすれば、処理費用自体は無料だった          ここ数年は三州化工株式会社と宮崎県の株式会社黒田工業が競合入札していると思うが、そもそも県外への持ち出しは良いのかも疑問。          キロ30円となった経緯が不明で、もう少し説明をしてほしかったと思う。単に価格変更の通知だけでは腑に落ちない。産地小売希望価格等の取り組みを考えるくらい、現状は厳しい。現在の価格が本当に適正な価格なのか、疑問が強い。業者に回収を頼むよりも皆で協力して大型トラックでひとまとめに運んでしまった方が安上がりではないか。庭先まで回収しにきてくれる業者があるなら、その方がいいのではないかと思う。</p> <p><b>ピーマンの値決め</b> 二割から二割五分を目標にして、事前取引価格を決める。年間通して一袋65円で卸している。それが店頭では数百円で販売される。それを続けて増やしていくと量的な縛りが正直厳しい。品物がある時はあるが、ない時はない。小売価格と賞味期限をしっかりと考え、皆が笑って味わえる売り方を提案していった方がいいと考える。</p>	<p><b>東 副議長</b> 都城のハンズマンではモグラ捕獲用の罠が販売されているとのことである。そういったものも試してみるのはいかがでしょうか。</p>

質疑・意見の要旨	質疑・意見の要旨
<p><b>モラルある飼養</b> 子牛の競り市について、売った方はそこで終わりなのでいいが、買った方はそこからスタートして、買値に見合うだけの儲けを出すために頑張らねばならない。また、肥育農家の意見として、育てづらい質の牛を購入させられると詐欺にあった気分になる。例えば子牛を80万で買って、餌に50万かけて、それでも売る時は100万にも届かないケースが少なくない。今はモラルのある農家を選ぶ時代になっていると思う。JA等と連携してそういう事例を志布志市内から出さないようにしてほしい。</p> <p><b>既存農家への更新補助</b> 強い台風が毎年くる時代であり地域である。本来ならばハウスにビニールを一年中被せておけば骨はかなり持つ。しかし鹿児島は台風が頻繁に来るのでそれができない。細かく手入れをすれば、長持ちはさせられるので、20年間ぐらい使っているのが現状だが更新時期の補助が無いため継続を断念する可能性もある。暖房器具も更新となれば100万はかかる。そういう事情を市役所でしっかりと考えてほしい。</p>	